

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 出血性線溶異常症の診断に関する研究
	●研究の対象 本研究に対し試料の提供元となる機関において、出血症状が認められ、通常の診療において原因が特定できず、かつ線溶活性が促進している状態を示す患者
	●研究の目的 線溶活性の促進による出血性病態（ $\alpha 2PI$ ・プラスミン複合体:PIC あるいは D ダイマー/フィブリン分解産物:FDP 高値）を示す患者において、血漿クロット溶解アッセイを比較検討することで、線溶活性が促進する病態に関与する因子を検索することを目的とする。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報： ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況 ・出血症状の程度、状況 ・臨床検査：血液学的検査(血小板数)、凝血学的検査（PT、APTT、フィブリンゲン、FDP、D ダイマー、PIC、アンチプラスミン活性、トータル PAI-1、プラスミノゲン、トロンボ

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	モジュリン、第 XIII 因子凝固活性、フォン・ウィルブランド因子抗原定量、フォン・ウィルブランド因子活性) ・線溶特殊検査：ECLT、PCLT 試料： ・血液検体（4ml クエン酸採血）
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 医生理学講座 鈴木優子 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科 窓岩清治 慶應義塾大学 医学部 臨床医学検査教室 涌井昌俊 鹿児島大学 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野 橋口照人 天理大学 医療学部 臨床検査学科 松本智子 和歌山県立医科大学 分子遺伝学講座 井上徳光 Innovative Hematology/Indiana Hemophilia and Thrombosis Center Dr. Amy Shapiro 金沢大学 医薬保健研究域保健学系 森下英理子 東京医科大学 臨床検査医学分野 篠澤圭子 奈良県立医科大学 小児科学 野上恵嗣 荻窪病院 血液凝固科 萩原剛
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医生理学講座 担当者： 鈴木優子 TEL： 053-435- 2248 E-mail： seigan@hama-med.ac.jp